

にある程度予測することができます。
守る行動を5つのステップでご紹介します。

STEP 5 マイ・タイムラインを作成しよう!

いざというとき慌てないよう、地域の危険箇所や避難所、警戒レベルごとの行動などを確認し、時系列に沿ったマイ・タイムライン(避難行動計画)を作りましょう。

マイ・タイムラインの作成方法

- 1 危険箇所を調べる
- 2 避難所や避難経路を確認
- 3 情報収集の手段を確認
- 4 マイ・タイムライン記入用紙に避難行動計画を書き込む



町ホームページ
「マイ・タイムラインを作りましょう」

マイ・タイムライン —風水害時にわたしが取る行動— —風水害時にわたしが取る行動—		
行政からの情報	わたしの行動	住んでいる地域の危険を調べよう
- 台情報報(台風発生、暴風予報など) - 気象情報(大雨予報、週間天気など) - 大規模な地震 - 大規模な火災(浸水害・土砂災害) - 洪水情報	- 警戒レベル4(避難指示) - 避難行動や避難経路を確認! - 警戒レベル3 - 警戒レベル2 - 警戒レベル1	●住んでいる場所が洪水浸水想定区域に入っているか? 入っていない 入っている (河川名) _____川 (浸水深) _____m 洪水・浸水害の恐れがある時の緊急避難場所 () ●住んでいる場所は土砂災害警戒区域に入っているか? 入っていない 入っている 土砂災害の恐れがある時の緊急避難場所 () 避難所 ハザードマップ 自動車
- 警戒レベル4(避難指示) - 避難行動や避難経路を確認! - 警戒レベル3 - 警戒レベル2 - 警戒レベル1	- 警戒レベル4(避難指示) - 避難行動や避難経路を確認! - 警戒レベル3 - 警戒レベル2 - 警戒レベル1	緊急連絡先(家族や親戚、友人など) 名 前 _____ 電話番号 _____

マイ・タイムライン記入用紙(イメージ)
(町ホームページからダウンロードできます)

避難のタイミングはレベルで判断 警戒レベル4までに全員避難!!

河川氾濫、大雨、土砂災害などに関する気象情報は、5段階の警戒レベルと一緒に発信されます。



レベル4やレベル3の情報が発表された場合には、気象庁ホームページの危険度分布「キキクル」や河川の水位情報などを確認して早めの避難を心掛けましょう。



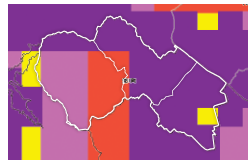
気象庁ホームページ
「愛川町の防災情報(キキクル)」

令和元年 台風19号による大雨のときの キキクルによる愛川町の危険度分布

気象庁ホームページより
(10月12日 午後7時の状況)

土砂災害

浸水害



レベル4相当
レベル3相当
レベル2相当

防災のワンポイントアドバイス

日頃からいろいろな想定で シミュレーションをしておく



災害は必ず起こると考え、日頃から備えましょう。安全点検や非常用品、家族との連絡方法を確認し、地域で助け合う体制を整えることが大切です。防災用品は普段使いできる物を選ぶと続けやすいと思います。

町内在住の防災士 中山裕次さん

地域で支える安心な暮らし 行政区・自治会に加入しましょう

☎ デジタル・協働推進課 協働推進班 ☎(内線)3242

いざというときに、地域の助け合う力を発揮するためには、日頃から言葉を交わし合って、顔が見えるご近所関係を築いておくことが重要です。地域に住む皆さんとの触れ合いの和を広げるために、ぜひ行政区・自治会に加入しましょう。

加入希望などの問い合わせは、地域の行政区・自治会役員へご連絡ください。

町ホームページ
「行政区(自治会)に入ろう!」



自主防災訓練は、こんな訓練を行います。

- 情報収集訓練
- 給食・給水訓練
- 救急・搬送訓練
- 初期消火訓練
- 避難訓練



初期消火訓練



給食・給水訓練



救急・搬送訓練

実施場所や時間などは、各行政区の回覧板などでご確認ください。

大切な命を守る準備はできていますか？

風水害に備える

台風や大雨は、事前
近づく危険から身を

避難の備え「5つのステップ」

STEP 1 ハザードマップで 自宅周辺の危険箇所を 確認しよう！

ハザードマップには、台風などによる洪水や崖崩れの恐れのある区域、指定避難所などを掲載しています。あらかじめ確認しておきましょう。



愛川町洪水・土砂災害ハザードマップ(イメージ)

ハザードマップは町役場やラビンプラザ、レディースプラザなどで入手できるほか、町ホームページでも確認することができます。

町ホームページでハザードマップを確認してみよう！▶



STEP 2 避難ルートを確認しよう！

避難所や避難経路、危険な場所などを確認し、できれば実際に歩いてみましょう。



STEP 3 非常持ち出し袋を準備しよう！

食料や水、懐中電灯など非常時に必要な物を準備しておきましょう。



STEP 4 情報入手しよう！

防災行政無線の情報などをさまざまな媒体で発信しています

- 音声自動応答サービス → ☎ 0120(530)310(通話無料)
- 防災行政無線戸別受信機 → ご希望の方に有償(1万円)で配布
- SNSや電子メールでも災害・避難情報を発信しています。



愛川町の
公式X



愛川町の
LINE公式アカウント



愛川町の
メール配信サービス



災害時は
テレビ神奈川(tvk)データ放送でも情報を発信

- 1 テレビ神奈川(3チャンネル)にチャンネルを合わせる
- 2 リモコンの「dボタン」を押す
- 3 リモコンの「緑のボタン」を押す
- 4 愛川町の画面が表示されるので、見たい情報をリモコンで選ぶ

ご自宅などのテレビでも、防災行政無線の内容や防災情報、イベント情報などをご覧ください。



防災対策3つの柱は、「自助」「共助」「公助」 「自主防災訓練」に参加して、 もしものときに備えよう！

大規模な災害が発生した際には国や県・町が取り組む「公助」には限界が生じる可能性があるため、自分の身は自分で守る「自助」のほか、自分たちの地域は自分たちで守る「共助」が重要となります。過去の災害においても、地域住民による救助活動などによって多くの命が守られました。

本年度は11月にかけて、各行政区で自主防災訓練が実施されます。

尊い命を災害から守るため、訓練に参加して地域防災の連携の輪を広げましょう。

